

# 2016年度 第6回 理事会報告

開催日時：2017年3月5日（日） 15:00～17:40

開催場所：株式会社国際文献社 高田馬場会議室（東京都新宿区高田馬場4-4-19）

## I. 会長挨拶

岩崎会長より挨拶があった。3月2日に急逝された岩間伸之理事を悼み、黙祷が捧げられた。

## II. 理事会開会宣言（欠席理事の確認）

岩崎晋也会長が議長となり、出席理事を確認し、「定款第43条」に規定されている要件を充足したので「2016年度第6回理事会」を開催するとの宣言をした。なお、定款第47条に則り、岩崎晋也会長、市川一宏監事、小林良二監事を議事録署名人として選出した。

## III. 審議事項

### 第1号議案 入会審査

岩崎会長より回覧資料に基づき説明があった。審議の結果、24名全員の2017年度入会が満場一致で承認された。

### 第2号議案 2016年度期末監査日程および計算書類等の理事会承認について

監査済みの計算書類等を定款第45条に則り、メールによる審議を行う旨の提議があった。審議の結果、満場一致で承認された。

### 第3号議案 2017年度事業計画案および予算案

各委員会および各地域ブロックの担当理事より、2017年度事業計画案の詳細について、財務担当金子理事より、2017年度の事業計画案をもとに作成された2017年度予算案について、配布資料に基づき説明があった。審議の結果、事業計画および予算案について、満場一致で承認された。

### 第4号議案 2017年度業務委託契約（秋季大会）について

秋季大会における会計業務に関して、2016年度契約からの変更点を確認し、審議の結果、満場一致で承認された。

### 第5号議案 規程の制定、改定について(賛助会員、特定個人情報、学会賞、保存)

#### ①賛助会員各種規程（案）、入会申込書（案）

正会員と賛助会員の会費規程を「一般社団法人日本社会福祉学会会費規程」として一つの規程にまとめ、次回の理事会に諮り、総会に上申することとなった。

#### ②「一般社団法人日本社会福祉学会 特定個人情報取扱規程」

岩崎会長より配布資料に基づき説明があり、審議の結果、満場一致で本日付での施行が承認された。

③「一般社団法人日本社会福祉学会 学会賞事業要綱」

変更点について確認し、審議の結果、満場一致で承認された。次回総会にて報告することとなった。

④「一般社団法人日本社会福祉学会機関誌発注・保存要領」

英文誌について、現況に沿って改正された修正案を確認し、審議の結果、満場一致で承認された。

第 6 号議案 名誉会員の推挙について

「一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程」第 2 条第 1 項に該当する古川孝順会員を、名誉会員へ推挙する旨の提議があり、満場一致で承認された。

第 7 号議案 全国大会運営委員の委嘱および解嘱について

研究担当山野理事より配布資料に基づき説明があった。2017 年 3 月 31 日付けにて、佛教大学の委員 3 名を解任し、2017 年 4 月 1 日付けにて、首都大学東京の委員 3 名を 4 号委員から 3 号委員とすること、また、金城学院大学の委員 3 名を新たに 5 号委員に委嘱し、2017 年 4 月 1 日付けにて 4 号委員へとすることについて審議し、満場一致で承認された。

第 8 号議案 韓国社会福祉学会自由研究発表者の選定について

国際学術交流促進委員会担当黒木理事より、韓国社会福祉学会春季学術大会に参加する 7 チームを採択したとの報告があった。本件は、韓国社会福祉学会へ採択者の情報提供が急務であることから、採択者・不採択者ともに審査結果について既に通知を行っている。以上の状況を含めて審議した結果、満場一致で承認された。

第 9 号議案 2017 年度定時社員総会の議題について

岩崎会長より配布資料に基づき説明があり、5 月 28 日に明治学院大学にて開催される 2017 年度定時社員総会の議案を確認した。審議の結果、満場一致で承認された。

第 10 号議案 若手・女性会員の支援検討委員会（仮称）について

岩崎会長より、単年度の「若手・女性研究者に対する支援検討委員会」の発足について提議があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第 11 号議案 研究倫理指針に違反する行為に対する申し立てについて

研究倫理委員会調査会による「倫理指針に違反する行為申立書」に関する調査結果報告書を確認し、それを踏まえた理事会としての対応について協議した。

第 12 号議案 その他

岩間伸之理事の急逝により、役員体制の変更について検討し、以下の通りとすることとなった。

- ・新総務担当理事：金子光一理事
- ・新財務担当理事：湯澤直美理事
- ・新学会資料のアーカイブ化推進委員会担当理事：金子光一理事
- ・新研究倫理に関する検討委員会担当理事：山田壮志郎理事

また、第4期代議員より理事を補充することとし、2017年度定時社員総会に上申して承認を得ることを確認した。

#### **IV. 報告事項**

##### 1. 2016年度年会費納入状況および退会報告

事務局より、現時点での年会費納入状況および退会申請状況の報告があった。

##### 2. 2016年度事業報告書・決算書の提出について

事務局より、2016年度事業報告書および決算書の提出について説明があった。

##### 3. 2017年度定時社員総会のスケジュールおよび委任状について

岩崎会長より、2017年度定時社員総会までの準備スケジュールおよび委任状について説明があった。

##### 4. 全国大会運営委員会からの報告（第64回秋季大会報告、第65回秋季大会準備状況報告、第66回秋季大会日程、第13回フォーラム準備状況報告、第65回春季大会準備状況報告）

研究担当山野理事より、第64回秋季大会（於：佛教大学）の決算報告があった。また、第65回秋季大会（於：首都大学東京）の開催案内パンフレット等を3月中旬発送予定の学会誌『社会福祉学』57巻4号に同梱し、会員に周知する旨の報告があった。

研究担当倉田理事より第13回フォーラムの準備状況について、順調であるとの報告があった。

##### 5. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集委員会副委員長今井理事より、投稿論文の受付状況について報告があった。二重投稿に関する指針案および英文誌の査読システムの見直しについて、引き続き委員会で継続審議していくことを確認した。

##### 6. 国際学术交流促進委員会からの報告

国際学术交流促進委員会担当黒木理事より、「留学生のためのワークショップ」の名称を「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」に変更し、開催時間も昨年度から変更する予定であるとの報告があった。

##### 7. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当大島理事より、2016年発行分の推薦図書募集を行い、11作品の推薦

があったとの報告があった。現在、2016年刊行の図書リストから、明らかに学術書ではない著作を除外する作業を委員全員で行っている。

#### 8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当小原理事より、「一般社団法人日本社会福祉学会ロゴマーク使用内規」および「ロゴマーク使用申請書兼承諾書」を学会ホームページに掲載したとの報告があった。また、学会ニュース74号より、記事の個別掲載に加え、全ての記事を一括で閲覧できる掲載方式を採用したとの報告があった。

#### 9. 学会資料のアーカイブ化推進委員会準備委員会からの報告

学会資料のアーカイブ化推進委員会準備委員会担当の金子理事より、次年度からの活動方針についての検討を行い、まずは機関誌『社会福祉学』の保存に注力することを第一目標に定めたとの報告があった。

#### 10. 研究倫理に関する検討委員会からの報告

研究倫理に関する検討委員会担当山田理事より、新規に作成する各種規程（案）を体系的に構成し、学会発表に関しては大会運営委員会と、論文執筆および投稿に関しては機関誌編集委員会と協調し、作業を進める予定であるとの報告があった。

#### 11. 大会のあり方検討委員会からの報告

研究担当山野理事より、第64回秋季大会会期中に実施したアンケートおよびその後学会ホームページ上で行ったWEBアンケートの集計結果について、2017年度定時社員総会で中間報告を行う予定との報告があった。

#### 12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：報告なし
- ・東北地域ブロック：2017年度の東北部会研究大会（山形大会）を7月に開催予定である。研究誌「東北の社会福祉研究第一三号」の今月中の発行を予定している。
- ・関東地域ブロック：2017年3月11日に研究大会を明治学院大学にて開催予定である。同日に第4回運営委員会を開催し、協議を行う予定である。
- ・中部地域ブロック：2017年4月22日に研究例会を開催予定である。同時に第1回幹事会の開催も予定している。
- ・関西地域ブロック：2017年3月11日に年次大会を関西学院大学にて開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック：ブロック委員会の開催、『中国・四国社会福祉研究』の編集作業、『中国・四国地域ブロック会報』発行作業を行うとともに、日本社会福祉学会第13回フォーラムの準備を進めている。2017年7月1日に広島国際大学にて第49回中国・四国地域ブロック大会を開催予定である。
- ・九州地域ブロック：第58回研究大会を2017年5月20日－21日に九州看護福祉大学にて開

催予定である。第 14 回フォーラムの担当地域ブロックであることから、2017 年度の運営委員会ではフォーラム開催についての協議を重ねていく予定である。

### 13. その他（協力団体からの報告、他）

#### <日本社会福祉系学会連合>

金子理事より、学会連合ニュースレター2017年3月号に、2016年度公開研究会の報告、加盟学会の次年度大会の情報、加盟学会紹介記事が掲載されているとの報告があった。

#### <ソーシャルケアサービス従事者研究協議会>

特になし。

#### <社会政策関連学会協議会>

岩崎会長より、2017年5月20日に社会政策関連学会協議会主催シンポジウムを大分市内で開催予定であるとの報告があった。

#### <社会学系コンソーシアム>

特になし。

議長は、議事終了を告げ、17時40分に理事会を解散した。

以上